

ベンチャーファンドの設立と支援

前回のNP0バイオのメルマガでも話題が出ていました通り、ノーベル医学・生理学賞・物理学賞に、大村智先生・梶田隆章先生の授与が決まりました。そのニュースの陰で、名古屋大学をはじめとする東海の5つの国立大学(名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、三重大学、岐阜大学)と日本ベンチャーキャピタルが、共同でベンチャーファンドを創設すると発表しました。

ファンドは日本ベンチャーキャピタル(NVCC)が来年3月末までに設立し、運営。投資規模は総額20億円以上で、中部の企業や金融機関から出資を募るといふものです。複数の大学が関わるベンチャーファンドは国内初であると思われるので、面白い仕組みであると同時に、しっかり波に乗るまでは、山あり・谷ありが続くと思います。

ただ、このベンチャー不毛地帯と言われている東海地域。実際に数字を見てみると、他地区に比べて、開業率は関西・関東よりも、0.6%低い(新規に開設された事業所企業/期首において既に存在していた企業)。確かに、ベンチャーというよりも、確実に事業を行う(事業承継?)モノが多い感はします。

このファンドが成功するのか失敗するのか? ここからは、NVCCさんの本気度に左右されます。単に投資するだけでなく、東海から世界に向けた支援等、ハンズオンがしっかりできるか?です。もちろん、そのためには、シーズが必要ですが、ホームランを飛ばせるシーズでなくても、商売ができるのは、みなさんご存知の通りです。あとは、地道に育成させていくコーディネーターの存在も重要なファクターになると思います。

まずは、ベンチャーが良い・悪いではなく、今までの事業を単純に継承していくことから、プラスして何か新しいことに繋げていく、またはチャレンジするきっかけになるのでは? いや、なっってほしいなあと思います!

(名古屋大学・河野)